

## 【参議院予算委】あすパッケージまとめ／足立議員が岸田総理に見解

参議院予算委員会は24日、令和6年能登半島地震等に関する集中審議が行われ、自由民主党の足立敏之議員が質問に立った。岸田文雄内閣総理大臣は、復旧・復興の見通しを示していくことが重要との考えを示すとともに、生活と生業支援のためのパッケージを明日（25日）にはとりまとめるとした。国土強靱化は重要性を改めて感じたとし、5か年加速化対策後も取り組みを進めると述べた。

足立議員は、地震発生後からの現地の状況や対応などについて説明するとともに、現地を訪問した岸田総理に、どのように感じたのか、復旧・復興に向けての考え方、今後の防災・減災、国土強靱化をさらに進めるなどインフラ整備への見解を聞いた。



質問する足立議員



答弁する岸田総理

### 岸田総理は大規模な土砂

災害によって寸断された道路、隆起した海岸部などの状況を目の当たりにし「改めて被害の甚大さ、地震の威力の大きさを痛感した」。また、避難所で避難者からの声を聞き「避難者の状況、立場がさまざま。支援もそれぞれの事情に応じた、きめ細やかな対応が必要だと強く感じた」と答えた。

復旧・復興を進めるため、予備費の増額や激甚災害や非常災害の指定を行っており「財政面の支援を手厚く行うことと併せて、マンパワーなど実行面での支援。不安を抱えている方々に寄り添うという意味からも復旧・復興を計画的に進めていく見通しをしっかりと示していくことも重要」とした。

また、生活と生業支援のためのパッケージについては「明日には政府としてとりまとめる予定となっている。その中で住まいの確保や、生活再建、農林水産業、観光、伝統産業を含めた中小企業の生業の再建、インフラやライフラインの復旧といったものに取り組んでいきたい。パッケージにとどまらず、中長期的な取り組みを用意し、支えていかなければならない」との考えを示した。

防災・減災、国土強靱化の取り組みの重要性も改めて感じているとし「5か年加速化計画は着実に推進する。これは当然のこと。5か年計画後についても昨年7月に策定した国土強靱化基本計画に基づき取り組みを進めていきたい」と話した。